【様式例②】
（施設所管課記入様式）

大東市立市民会館　内部評価結果　（施設所管課による評価）

【評価対象施設】大東市立市民会館
【指定管理者名】太平ビルサービス大阪株式会社
【評価対象年度】令和６年度
【施設所管課名】市民生活部　市民政策課

業務内容について評価
年度当初に予定していた自主事業について、すべて実施でき、参加された方から高い評価を得ることができました。キラリエホールでの映画観賞会（３回実施）、フリーマーケット（４回実施）については、毎回ホールが参加者で満員となり、人気のある事業となっています。令和６年度は新たな試みとして、海遊館様のご協力を得て、ＳＤＧｓの啓蒙と関連し「海遊館出張授業～ジンベイザメとゴミ問題～」を開催いたしました。参加いただいた幼稚園児から小学生、保護者の方から大変好評を得ております。令和７年度も、市民の皆様に喜んでもらえるよう、民間企業ならではの斬新な視点・アイデアを織り込んだイベントを実施していただくことを期待します。 施設の修繕についても、修繕の必要性が生じた場合、市民政策課に速やかに報告があり、協力・連携して対応することができています。今後も市民政策課とコミュニケーションを密にし、施設利用者が安全・安心に利用できる施設を維持していくことを期待します。

利用者満足度について評価
市民会館全般の使いやすさ、スタッフ対応・説明、会議室の使いやすさなど、市民会館の運営について、令和７年２月１日から令和７年３月３１ 日にかけて実施されたアンケート結果では、「満足」「やや満足」「普通」が大半であり、利用者には大きな問題がなく利用いただいています。今後も引き続き利用者に満足していただけるよう、どのようにすればより良い市民会館となるか考えて運営をお願いします。

収支状況について評価
令和７年３月までの利用収入が３８，２９０千円、令和６年３月までの利用収入が３７,８３０千円で、前年比４６０千円の増となっています。光熱水費の価格上昇などもありましたが、一年間の市民会館全体の収支においても、約４８０千円の黒字となっております。令和７年度も引き続き健全な経営を継続してください。

総合評価
市民会館の利用率は年平均約４０％を維持、また市の利用（行事・イベント等）についても市各課と調整・協力しながら、問題なく一年間市民会館を運営いただいています。 今年は自主事業でも、SDGｓと関連した新たな自主事業を開始し、創意工夫に満ちた取組みをしていただいています。今後も市民の皆様が行きたい、参加したいと思えるような自主事業を企画・実施してください。 令和７年度は利用率の更なる向上を図るとともに、市民会館の魅力を発信し、利用者が今後も使い続けたいと思えるよう活動を続けてください。